

岡田紅陽写真美術館 企画展

PHOTO
琳派展

佐藤ちえ子の

写実 ± 想像の世界へようこそ



2025年5月28日 [水] — 6月25日 [水]

休館日 火曜日

開館 午前10時～午後5時（最終入場は4時半）

観覧料 無料（常設展は別途）

会場 岡田紅陽写真美術館 企画展示ホール

主催 忍野村教育委員会（岡田紅陽写真美術館・小池邦夫絵手紙美術館）

●ギャラリートーク：6/14(土) 13:00～（申込不要、参加無料）

●作家在廊：5/28(水)、6/25(水)、会期中の土日。11:00～15:00

在廊日は変更となる可能性があります。作家にご用の方は予めお問合せください。

「PHOTO 琳派」とは…

伝統的な琳派の華やかさや、装飾美を取り入れた写真のコラージュによる佐藤氏の独創的なスタイル。四季折々の富士山や、自然の美しさを繊細かつ力強く表現し、日本画のような趣を感じられるが特徴です。

PHOTO 琳派展

佐藤ちえ子の写実±想像の世界へようこそ

2025年5月28日[水] → 6月25日[水]



写真に取り組んでいると、個展、クラブ展、写真集、コンテストなどに使用した作品以外は膨大な枚数となって残ってしまいます。そこで主婦感覚から残り物の写真の何枚かを組み合わせてあこがれの「日本画風」に仕上げてみました。いわゆるフォトコラージュです。これが「PHOTO琳派」のスタートでした。始めたばかりの40年前（フィルム時代）は、写真を印刷したり色調整したりごみを取り除いたりするのはラポ任せでした。今はカメラや携帯も進歩して様々なソフトを使い、自由に写真をコラージュして楽しめるようになりました。

振り返れば私は「花」「花風景」「富士山」ばかりを撮影し、作品の主な題材としてきました。そこに最近加わったのが「鷺」です。コロナ禍という未曾有な出来事で今までのように撮影することができなくなり、仕方なく家の周りを散歩撮影していたときに出会ったのが鷺たちでした。それまで全く興味のなかった鷺たちでしたが、今では毎日が楽しみになって続いています。こうして日々自分が心を込めてシャッターを押した写真がごみ箱へ行かずに新たな作品に生まれ変わる……そのときのワクワクが「PHOTO琳派」の魅力でもあります。

本展では多くの作品を和紙にプリントし、より日本画の風合いに近づけるよう心がけました。「琳派」の伝統的な美と、写真という現代的な技術との融合をお楽しみいただけましたら幸いです。（佐藤ちえ子）

●佐藤ちえ子 プロフィール

甲府市出身、笛吹市在住、昭和23年生まれ。二科会写真部会員。40年以上にわたって日本画風の写真作品を製作。「PHOTO琳派」という独自のスタイルを確立し、フォトコラージュやフォトアートを取り入れた作品を発表している。多数の写真コンテストでグランプリ受賞、また様々な写真コンテストの審査員も務めている。

- 電車・路線バス：JR 大月駅から富士急行線「富士山駅」下車、内野行きまたは平野行きバスにて12分「忍野しのびの里」下車。
- 高速バス：バススタ新宿より忍野経由・山中湖行き「忍野しのびの里」下車、または山中湖・平野行き「忍野入口」下車徒歩15分。
- 自動車：東富士五湖道路「富士吉田忍野スマートIC」より5分または「山中湖C」より10分。中央高速道「河口湖C」より15分。



〒401-0511 山梨県南都留郡忍野村忍草 2838-1
TEL. 0555-84-3222 FAX. 0555-84-3320
<https://oshino-artmuseum.com>
(小池邦夫絵手紙美術館併設)

